



令和 6 年度
南丹市 防災会議・
国民保護協議会

令和 6 年 1 0 月 1 0 日 (木)

総務部 危機管理課



次 第

1 防災関連行事 実績（6年度上半期）

(1) 防災パトロール

(2) 防災訓練（取水期を前にしたコミュニティタイムラインの確認）

(3) 災害対策

2 防災関連行事 予定（6年度下半期）

原子力防災訓練

3 国民保護協議会委員の人数変更

4 その他

5 質疑等



1 防災関連行事 実績（6年度上半期）

(1) 防災パトロール

災害時における危険予想箇所点検の実施について（依頼）（令和6年4月5日付、6災第102号）に基き次のとおり実施しました。

ア 目的

災害から住民の生命、身体及び財産を保護するため、市内の河川、道路、ため池、宅地造成並びにがけ地等を防災関係機関の職員等によって総点検し、災害時に危険が予想される箇所について、防災上必要な対策を検討し、責任の所在を明確にして、防災工事の実施あるいは、実状に即した防災体制の確立をはかる。



防災関連行事 実績（6年度上半期）

イ 菖蒲谷川（建設整備課からの情報）

（ア）期日等

令和6年5月27日(月)0900~1015

（イ）場所等

園部町殿谷

保全対象：園部町消防団詰所、殿谷区公民館(殿谷農事集会所)、人家8戸、国道128m、市道145mがある土石流危険渓流



消防団詰所



殿谷農事集会所



人家8戸



平面図





防災関連行事 実績（6年度上半期）

イ 菖蒲谷川（建設整備課からの情報）

（ウ）参加者

市長、土木建築部（3名）、南丹警察署（1名）、
園部消防署（2名）、南丹土木事務所（3名）、
南丹市消防団（4名）、京都府南丹広域振興局（1名）、
危機管理課（4名） 計19名

（エ）実施模様



1 防災関連行事 実績（6年度上半期）

ウ その他

農山村振興課から、美山町三笠勝ヶ迫^{みつの かつがさこ}の治山事業の点検について上申があったが、時間の都合上来年度の実施予定となった。

(ア) 工期

令和5年12月20日から令和6年3月29日

(イ) 工事内容

雪害被害木、倒木の恐れのある木の伐採、撤去 0.9ha

(ウ) 場所

右図参照





防災関連行事

実績（6年度上半期）

ウ その他

（エ）工事前状況





次 第

- 1 防災関連行事 実績（6年度上半期）
 - (1) 防災パトロール
 - (2) 防災訓練**（取水期を前にしたコミュニティタイムラインの確認）
 - (3) 災害対策
- 2 防災関連行事 予定（6年度下半期）
原子力防災訓練
- 3 国民保護協議会委員の人数変更
- 4 その他
- 5 質疑等

1 防災関連行事 実績（6年度上半期）

(2) 防災訓練（取水期を前にしたコミュニティタイムラインの確認）

ア 目的

取水期を前に、各地区における、地域の特性やリスクに応じた避難行動及び避難支援地域住民を確認していただき、地域防災の課題や現状を踏まえて、**避難行動や避難支援の方法などをまとめ減災に務める。**

イ 期 日

4月末から5月31日

ウ 対象団体

南丹市自主防災組織28団体

1 防災関連行事 実績（6年度上半期）

(2) 防災訓練（取水期を前にしたコミュニティタイムラインの確認）

エ 実施方法

(ア) 南丹市で昨年11月に実施した、「水害等避難行動タイムライン講習会 Youtube動画」を案内。

ユーチューブ動画



(イ) 動画を確認したのち、各地区毎のタイムラインの「災害・避難カード」点検、確認、作成を依頼。

⇒ 次頁

		水 害	土砂災害
避難の合図 (スイッチ)			
避難 先	指定緊急 避難場所		
	次善の 避難場所		
メモ欄			

○市町村から避難情報が出された際は、避難行動をとって下さい。

避難情報は市町村が気象庁等の情報をもとにそれぞれの地域の状況を判断し発令します。

▶高齢者等避難

避難に時間を要する人（ご高齢の方、障がいのある方、乳幼児等）とその支援者は避難しましょう。その他の人は、避難の準備を整えましょう。

▶避難指示

速やかに危険な場所から全員避難しましょう。

1 防災関連行事 実績（6年度上半期）

(2) 防災訓練（取水期を前にしたコミュニティタイムラインの確認）

オ 結果

(ア) 回答率：14団体 / 28団体 50%（半分の自主防災組織が提出）

連番	自主防災組織名	連番	自主防災組織名
1	新堂区防災委員会	15	中世木自主防災協力隊
2	黒田区自主防災会	16	殿田消防協力隊
3	穴人区自主防災会	17	生畑区自主防災会
4	小山西町区自主防災会	18	上保野田消防協力隊
5	横田区防災委員会	19	和田ふるさとレスキュー隊
6	小山東町自主防災組織	20	彰徳自主防災会
7	千妻区自主防災会	21	志和賀自主消防協力隊
8	木崎町区自主防災会	22	上胡麻消防協力隊
9	園部町大西区自主防災会	23	知井地区消防協力隊
10	南地区自主防災会	24	宮島地区自衛消防隊
11	八木町北地区自主防災会	25	平屋ふるさとレスキュー隊
12	西胡麻区消防協力隊	26	鶴ヶ岡ふるさとレスキュー隊
13	東胡麻消防協力隊	27	口人区自主防災会
14	新シ区防災協力会	28	八木町神吉地区自主防災会

(イ) 南丹市全体行政区回答率：47区/185区 25% (自主防災組織率：102/185 55%)



行政区	自主防災組織
宮町	
上本町	
本町	
若松町	
新町	
小山東町	小山東町自主防災組織
市宮向河原団地	
府宮向河原団地	
小山西町	小山西町区自主防災会
栄町	
美園町	
小桜町	
城南町	
横田	横田区防災委員会
黒田	黒田区自主防災会
上木崎町	
河原町	
木崎町	木崎町区自主防災会
内林町	
瓜生野	
熊崎	
新堂	新堂区防災委員会
千妻	千妻区自主防災会
菅我谷	
船岡	
高屋	
大戸	
熊原	
佐切	
越方	
竹井	
仁江	
船飯	
大西	園部町大西区自主防災会
穴人	穴人区自主防災会
半田	
口人	口人区自主防災会
口司	
殿谷	
殖生	
南八田	
天引	
法京	
大河内	
南大谷	
若森	

行政区	自主防災組織
本町1丁目	南地区自主防災会
本町2丁目	
本町3丁目	
本町4丁目	
本町5丁目	
本町6丁目	
栄町1丁目	
栄町2丁目	
栄町3丁目	
本郷東	
本郷西	八木町北地区自主防災会
本郷南	
本郷北	
垣内	
柴山	
青戸	
西田	
井ノ尻	
観音寺	
屋賀	
屋賀上	八木町神吉地区 自主防災会
北屋賀	
氷所	
日置	
刑部	
北広瀬	
鳥羽	
美里	
室河原	
木原	
池ノ内	
玉ノ井	
八木嶋	
大藪	
折戸	
南広瀬	
船枝	
山室	
室橋	
諸畑	
野条	
池上	
神吉上	
神吉下	
神吉和田	

行政区	自主防災組織
殿田(上)	殿田 殿田消防協力隊
殿田(下)	
木住	
生畑	生畑区自主防災会
中世木	中世木自主防災協力隊
東雲	(田原) 新シ区防災協力会
片野	
ヴェルビュー	
ヴィレッジ	
片野団地	
新シ	
和田	
興風	
彰徳	
彰徳自主防災会	
吉野辺	四ツ谷
中組	
海老谷	
東組	
下佐々江	佐々江
中佐々江	
上佐々江	
西胡麻駅前	西胡麻 西胡麻区消防協力隊
栄ヶ丘	
角本	
中村	
中野辺	
イングランドヒルズ	
新町	
後野	
日吉平	
胡麻荘園	
東胡麻	東胡麻消防協力隊
上胡麻	上胡麻消防協力隊
広野	
畑郷	
上保野田	上保野田消防協力隊
下保野田	
志和賀	志和賀自主消防協力隊

行政区	自主防災組織
菅野	
大野	
川谷	
岩江戸	
脇谷	
小刈	
向山	
懸原	
菅海	

行政区	自主防災組織
南	知井地区消防協力隊
北	
中	
河内谷	
下	
知見	
江和	
田歌	
芦生	
白石	
佐々里	平屋ふるさとレスキュー隊
又林	
下平屋	
上平屋	
安掛	
野添	
長尾	
深見	
荒倉	
大内	
内久保	宮島地区自衛消防隊
原	
板橋	
宮脇	
下吉田	
鳥	
長谷	
上司	
和泉	
静原	
今宮	鶴ヶ岡ふるさと レスキュー隊
砺原	
砂木	
棚	
川合	
殿	
舟津	
松尾	
神谷	
名島	
洞	
田土	
上吉田	
林	
庄田	
脇	
熊壁	
山森	

行政区： 自主防災組織有り
 自主防災組織： タイムライン回答あり

1 防災関連行事 実績（6年度上半期）

(2) 防災訓練（取水期を前にしたコミュニティタイムラインの確認）

(エ) 所 見

自主防災組織の28団体からは、予告なしの訓練であったにも関わらず、50%の回答を得ることができた。引き続き、来年度にも同様の訓練を実施し、回答の得られなかった団体には直接出向く等し、回答率100%を目指すとともに、防災における意識付を高めていきたい。

また、前ページの表を見ても分かるが、自主防災組織を取り入れている区は55%である。本市は、山間部が多く、大雨による洪水、土砂災害が目立つが、地震に対する備えも必要との意識付をし、区長会議に同組織の活用を説き、自主防災組織率の向上に務めたい。



次 第

- 1 防災関連行事 実績（6年度上半期）
 - (1) 防災パトロール
 - (2) 防災訓練（取水期を前にしたコミュニティタイムラインの確認）
 - (3) 災害対策**
- 2 防災関連行事 予定（6年度下半期）
原子力防災訓練
- 3 国民保護協議会委員の人数変更
- 4 その他
- 5 質疑等



防災関連行事 実績（6年度上半期）

(3) 災害対策

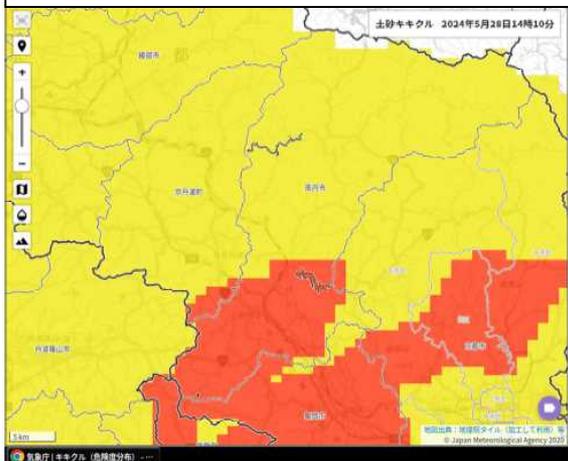
ア 6.5.28_1331-2032（大雨警報）

5月28日（火）1500 災害警戒体制調整会議

（ア）被害①：0850頃_南丹市園部町新堂ヒケン田 2 1

豪雨により田が溢水し、畦畔が崩壊した。

キキクルの状況 5.28_1410



被害の様様



防災関連行事 実績（6年度上半期）

(3) 災害対策

ア 6.5.28_1331-2032（大雨警報）

5月28日（火）1500 災害警戒体制調整会議

(イ) **被害②**：0950頃_日吉町保野田大迫5 - 2番地先
豪雨により広域農道脇の作業道から土砂が流出した。



被害の様様



防災関連行事 実績（6年度上半期）

(3) 災害対策

ア 6.5.28_1331-2032（大雨警報）

5月28日（火）1500 災害警戒体制調整会議

(ウ) 被害③15時頃_南丹市八木町氷所鎌谷2 - 1 先

氷所地内において境川（旧国有水路）が倒木等により流路が閉塞し、市道氷所富栄線へ流れ込んだ。



被害の様



防災関連行事 実績（6年度上半期）

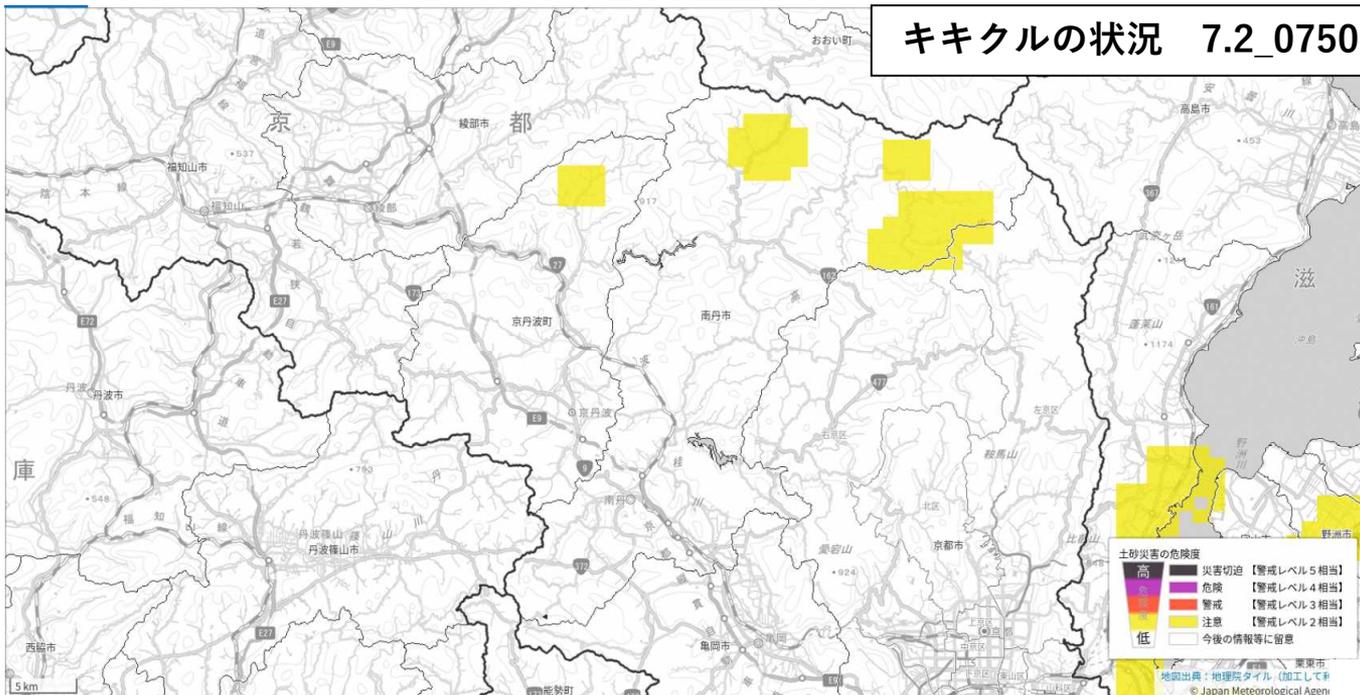
(3) 災害対策

イ 6.7.2_0649-1758（大雨警報）

7月2日（火）0830 災害警戒体制調整会議

被害なし。

キキクルの状況 7.2_0750





防災関連行事 実績（6年度上半期）

(3) 災害対策

ウ 6.7.15_1746-2341（大雨警報）

（ア）被害①：

1840頃_美山町長谷地内崩土。

市道湯ヶ谷丸山線通行不可

7月15日（月）	1900	1回	災害警戒体制調整会議
7月15日（月）	1930	1回	災害警戒本部会議
7月15日（月）	2015	2回	災害警戒本部会議
7月15日（月）	2100	3回	災害警戒本部会議
7月15日（月）	2215	2回	災害警戒体制調整会議



被害の様相



防災関連行事 実績（6年度上半期）

(3) 災害対策

ウ 6.7.15_1746-2341（大雨警報）

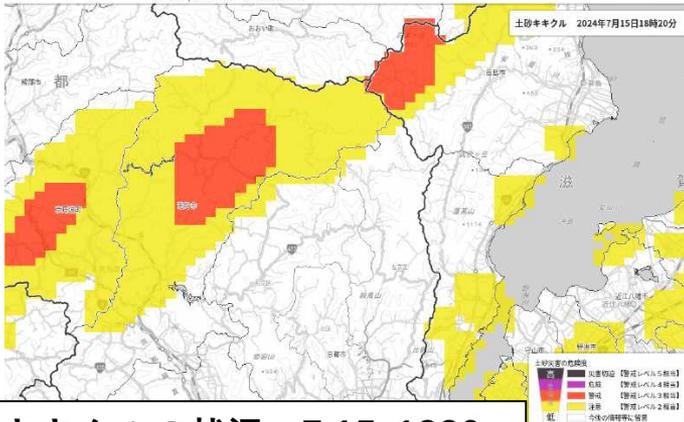
(イ) 被害②：19時頃_美山町下平屋地内

民家裏山から出水。消防団による土嚢設置。

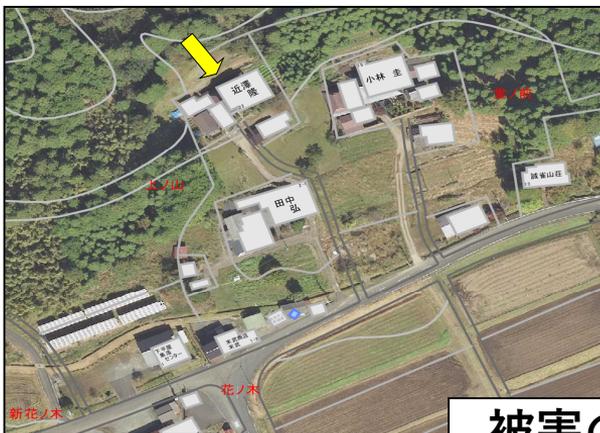
下平屋公民館に2世帯5名避難。



気象庁 | キキクル（危険度分布）



キキクルの状況 7.15_1820



被害の様様



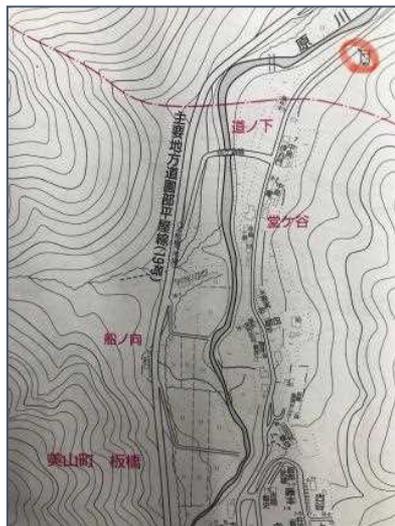
1 防災関連行事 実績（6年度上半期）

(3) 災害対策

ウ 6.7.15_1746-2341（大雨警報）

(ウ) 被害③：19時頃_美山町板橋地内崩土。

市道板橋宮脇線通行不可。



被害の様様

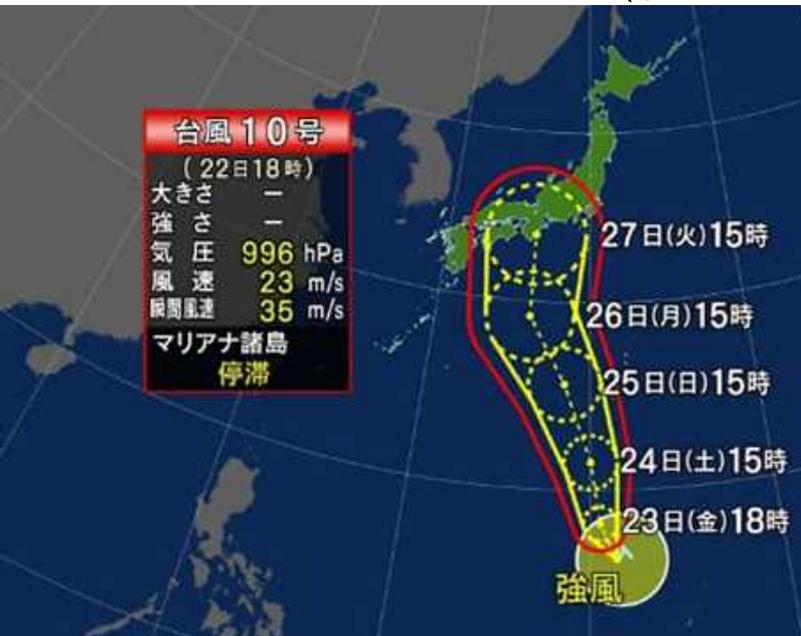


防災関連行事 実績（6年度上半期）

(3) 災害対策本部関連

工 6.8.29～8.30（台風10号関連）⇒

8月29日（木） 1500	第1回災害警戒本部会議
8月30日（金） 0830	第2回災害警戒本部会議



1 防災関連行事 実績（6年度上半期）

(4) 南海トラフ関連

ア 日向灘における地震発生

地震発生日時	8月8日（木） 1642
マグニチュード	7. 1
発生場所	日向灘 深さ31km
発震機構	西北西－東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、陸のプレートとフィリピン海プレートの境界で発生
震度	【最大震度6弱】宮崎県日南市で震度6弱を観測した他、東海地方から奄美群島にかけて鮮度5強から1を観測

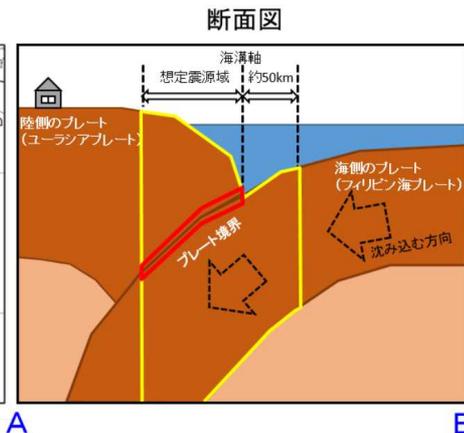
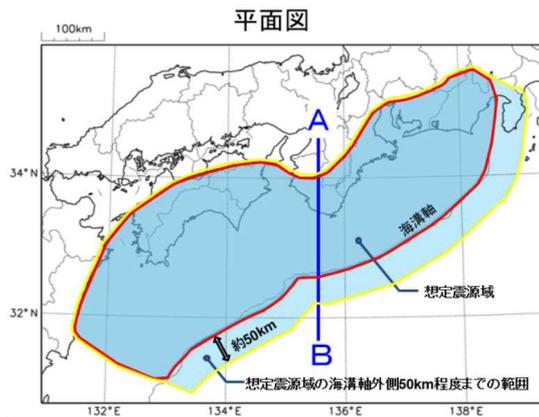
イ 南海トラフ地震臨時情報

8.8（木）_1915～8.15（木）_1700



(4) 南海トラフ関連

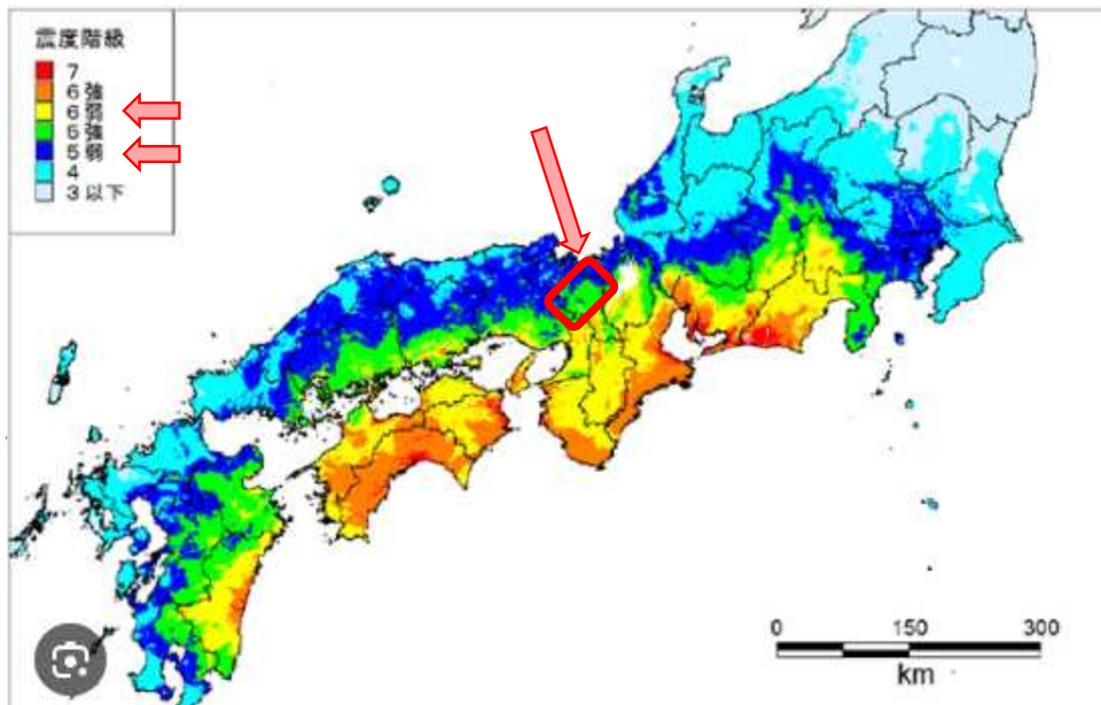
年代	南海トラフで繰り返り起きた地震	前回の地震との間隔(年)
684年	白鳳(天武)地震	-
887年	仁和地震	203
1096年	永長東海地震	209
1099年	康和南海地震	3
1361年	正平(康安)東海地震	262
1361年	正平(康安)南海地震	0
1498年	明応地震	137
1605年	慶長地震	107
1707年	宝永地震	102
1854年	安政東海地震	147
1854年	安政南海地震	0
1944年	昭和東南海地震	90
1946年	昭和南海地震	2





(4) 南海トラフ関連

八木及び園部の市街地あたりの一部地域
において、震度6弱の揺れが想定されるため
指定を受けております。





敵を知り、己を知れば、百戦して 殆（あや）うからず

(4) 南海トラフ関連 参考資料

地震対策

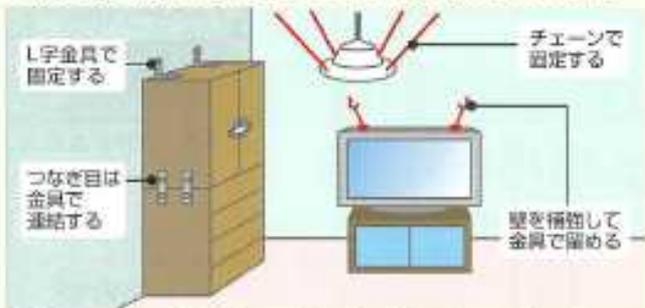
木造住宅耐震化 家の耐震性を確認し、耐震化をしましょう

わが家の「耐震性」を点検し、「耐震補強」をして、「接合部」の補強より安心・安全な地震対策を行いましょう。

市では木造住宅の耐震改修費を一部補助します。詳しくは市のホームページ「木造住宅耐震化」をご覧ください。

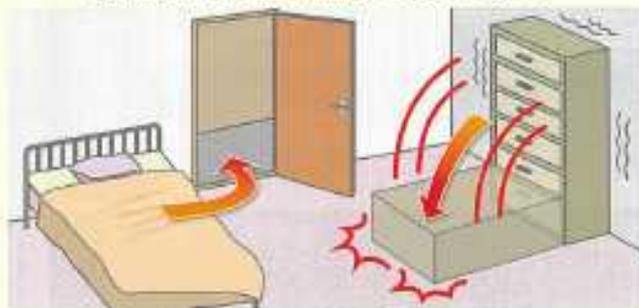


家具が倒れないように固定しましょう



家具やテレビなどを固定し、転倒や落下を防止する。

家具の配置に注意しましょう



寝室には倒れそうな家具を置かない。
扉をふさぐような配置をしない。



